

渡邊健司記念杯の紹介

渡邊健司さんは豊島区立大塚中学校（現在の巣鴨北中学校）出身のオリンピック選手で、中学三年（14歳）でロサンゼルス大会に出場し、その後ソウル、バルセロナと三大会出場、アジア大会も二回出場しました。

選手引退後は、豊島区水泳連盟の一員として初心者から上級者まで幅広く水泳指導で活躍していましたが、2017年9月18日に鬼籍に入りました。

豊島区水泳連盟では、渡邊健司さんの功績と水泳普及に向けた貢献に敬意を表すとともに、その栄誉を次世代に継承するために、渡邊健司記念杯を制定しました。

中学生から高校生を対象として、100m平泳ぎの成績優秀者、男女各一名に記念杯を贈呈します。

渡邊健司選手の経歴

1984年 - ロサンゼルスオリンピック 200m平泳ぎ 14位

1986年 - ソウル アジア大会 200m平泳ぎ 優勝、100m平泳ぎ 3位

1988年 - ソウルオリンピック出場

1990年 - 北京 アジア大会 200m平泳ぎ 優勝、100m平泳ぎ 2位

1992年 - バルセロナオリンピック 200m平泳ぎ 7位（日本新）